

梵珠ガイド会通信

2021年11月03日号

自然ふれあい
ボランティアガイド会

■ 堺野沢ため池自然観察会 ～ガイド会自主研修～



遅い昼食を前にパチリ



つる性のシロバナカモメヅル確認

里山も紅葉が見頃となった10月30日に、当ガイド会の自主研修「堺野沢ため池自然観察会」を開催しました。ため池の散策コースは整備され、一周4.2km、1時間で回るところを3時間かけて自然観察。水生植物のカンガレイ（長さ50～120cm 幅0.3～1cmの三角柱状）、フトイ（イグサに近い姿のカヤツリグサ科で高さ2mと大柄な多年草）、ノハナショウブの実、ドクゼリなどを確認しました。堤防の所では、フランスギクや珍しいイヌハギも見ることが出来ました。

堺野沢ため池は、周囲がりんご園で囲まれ、遊歩道や木橋が設けられ、堤体からは岩木山や市街地が一望でき、東には梵珠山系の山並みを見ることができます。四季を通じて市民の憩いの場として親しまれています。

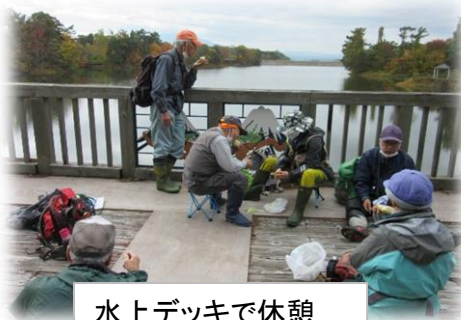
また、堺野沢ため池は、農林水産省が選定する農業用の水源として秀でた特徴を有する全国ため池百選の一つに選ばれています。

<堺野沢ため池の概要>

- ・所在地：五所川原市大字松野木字福泉
- ・貯水量：57万 m^3 ・堤長：317m ・堤高：10m ・かんがい面積：135ha

<ため池整備事業：県営地域用水環境整備事業>

- ・主要施設：管理橋120m、あずま屋4棟、パーゴラ1棟、トイレ2カ所、遊歩道1周4.2km



水上デッキで休憩



ノハナショウブの実を撮影



管理橋

■ 県下のため池の半数を占める西北地方

堺野沢ため池などの多くは、350年前の藩政時代に新田開発のために築造された農業のため池です。江戸時代には山麓の平地や台地、特にデルタ地帯でため池が中心となって新田開発が進められた。

青森県における現存するため池は、平成26年調査時点で1,773カ所あり、そのうちの51%が西北地方にある。特に鱒ヶ沢町には423カ所、次に五所川原市の169カ所と続く。

平成23年の東日本大震災で福島県のため池が決壊し、人命が失われる甚大な被害が生じたことから全国的にため池の一斉点検が実施された。

①堤高さ15m以上、②決壊した場合に人家や病院、学校などの重要な公共施設への影響を与えるおそれのあるため池で、堤高10m以上または貯水量5万立方メートル以上のいずれかに該当する「防災重点ため池」は、県下で140箇所となっています。

ため池の多い西北地方では、その重点防災ため池が県全体の6割の83カ所存在し、中でも五所川原市には38カ所あり一番多い。

農林水産省が選定する農業用の水源として秀でた特徴を有する全国ため池百選には、本県でこの堺野沢ため池、藤枝ため池、鶴田町廻堰大ため池の3つが選ばれています。

ため池は農業用水の確保はもちろんのこと、豊かな自然や生物の保全、洪水調節機能、農村景観形成や地域の憩いの場等、農業の多面的機能を有しています。



廻堰大ため池



藤枝ため池

■ 救急セットとスズメバチス撃退プレーを購入しました

当ガイド会で、救急セット及びスズメバチ撃退スプレーを購入しましたので、自然ふれあいセンターに置いておきます。救急セットは必要なものがあれば追加購入していきますのでイベント等の際には携行していただくようお願いします。



■ ガイド会活動日誌

月 日	内 容	担当ガイド会員
10月24日(日)	センター主催紅葉トレッキング(空沼~センター)	須々田・平川
10月25日(月)	堺野沢ため池下見	平川・澁谷

